

522) 引き出し

小生はこう見えても結構マメである。休日などはよく掃除したりデスクの片づけをして過ごすことが多い。女房殿が買い物に行っているとき、ふと事務机の中を片づける気になって、いろいろとひっくり返しながらか、片づけたところまでは良かったのだが、引き出しが重くなったせいか、開け閉めがスムーズに行かなくなってしまった。力まかせにエイッとばかり閉めると、何とガウンの裾を挟み込みながら引き出しが閉まったから、今度はこの裾がどうモガコウと取れなくなってしまった。しかも半分身体が自由が利かないから姿勢を正してまっすぐに引き出しを押すことも、またまっすぐに引くこともできない。そうこうするうちに名案が浮かんだ。まずガウンを脱いでしまえばいいんだ。そこでガウンを脱ごうとすると、新たな問題が露呈した。モモヒキも一緒に挟まっていたのである。イヤハヤとんだストリップを真っ昼間に演じた次第でありまして、やがて帰ってきた女房殿は、「あんた、一体ナニやってんの?」。そう全く我ながらナニやってんのか解からないのでありました。